

前の実験で発芽しなかったものは、発芽する条件を^{とどの}調べて育ててみよう！

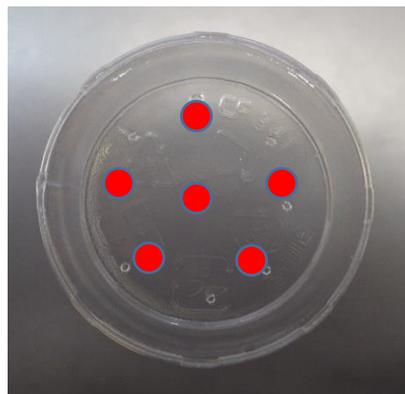
発芽して、前の実験結果が分かったら、土に植えましょう。植え替えたものはワークシート③(実験4)で使います。
※発芽したまま脱脂綿の上に置いておくと、くさってしまうことがあるので、注意しましょう。

0. 用意するもの(準備) ※土や水を使うので、おうちの人と場所を相談して行いましょう。



- 大カップ 3個
- 小カップ 5個 (前の実験で使ったもの)
(発芽の実験で使ったもの)
- パーミキュライト (土)
- 液体肥料
- 黒ビニール筒
- 500ml ペットボトル
(半分 (250mlくらい) 水を入れておく)
- 画びょう (カップに穴が開けられるもの)

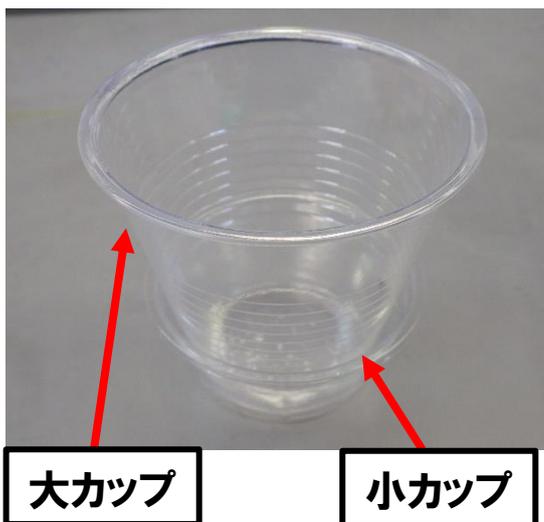
1. 画びょうで3つの大カップそれぞれの底に穴をあけます。(6か所くらい)



※画びょうがなければ、針などを使って開けましょう。
※少し開けるときに力が必要なので、気をつけましょう。

2. 植え替えるため大カップを用意します。

(1) 小カップを受け皿にします。



(2) (1)に黒ビニール筒をかぶせます。



(3) 大カップに土を入れます。



☆3つのカップに同じくらいになるように土を入れます。



☆目安はカップの内側の線（一番上）です。

(4) インゲンマメを植えます。※1つのカップに2個ずつ植えましょう。(1つずつでも大丈夫です。)



☆穴は人差し指の第一関節くらいの深さ。



☆穴にインゲンマメを置き、土をかぶせます。

(5)水やりをします。



☆小カップで1杯を目安に水やりをしましょう。
(全体に。受け皿からあふれるので注意!!)



☆大カップ3つ分用意しましょう。

3. 肥料を用意します。



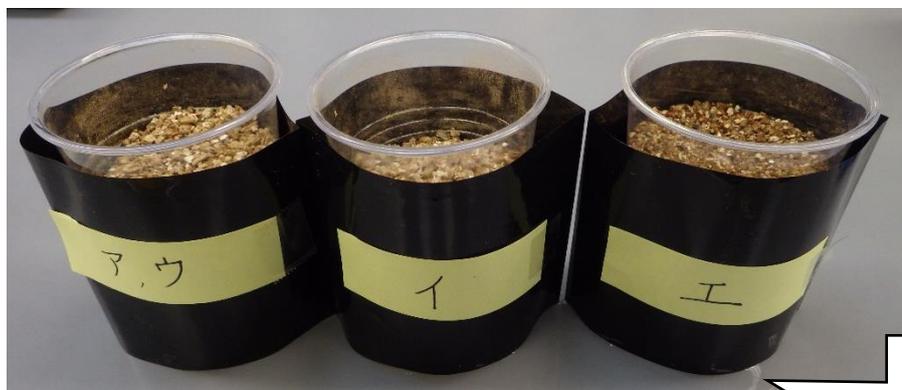
①250mlの水が入ったペットボトルに液体肥料を入れます。
(液体肥料は全部入れましょう。)



注意!

肥料の完成です!
※飲み物と間違えないよう、ペン
でしるしをつけたり、場所を考
えて保管したりしましょう。

4. 3つのカップを実験する場所に置きます。



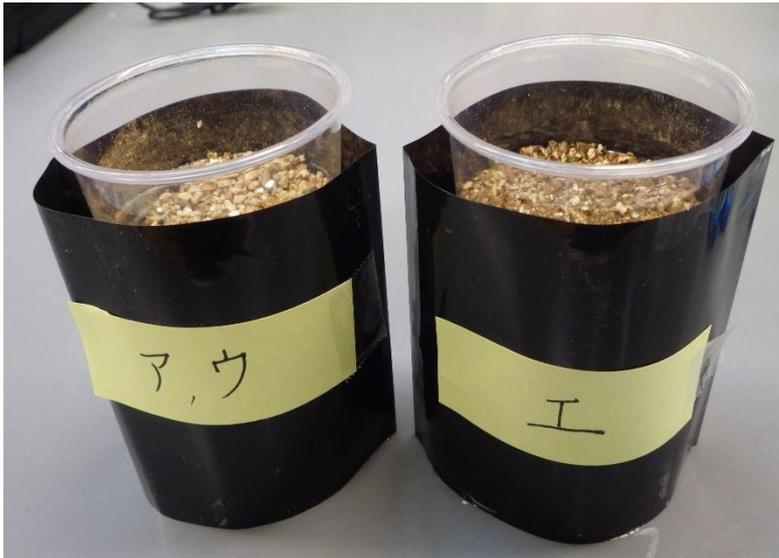
☆図のように記号やしるしをつけましょう。

☆実験では、アとウは同じものを使います。

☆どのカップも水をあげま
す。土がかわかないよう、
様子を見ながら水やりをし
ましょう。

ア(ウ)とエ・・・日の当たる場所(室内の窓際など)

イ・・・暗い場所(戸だななど)

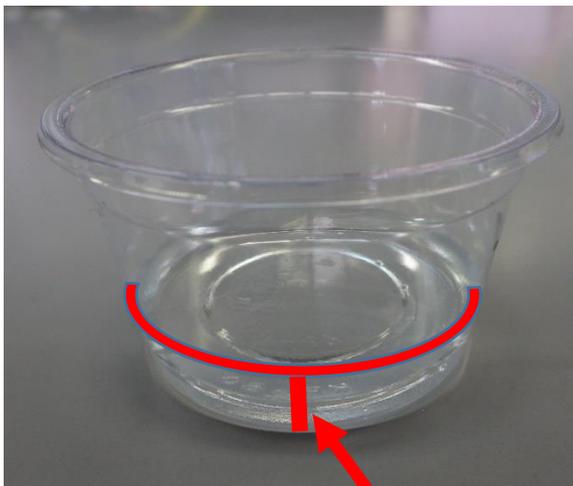


☆「適当な温度」の条件をそろえるために、
3つともできるだけ同じ部屋に置きましょう。



5. 肥料のあげかた

※肥料をあげるのは、ア(ウ)とイだけです！



1 cm

○あげる回数は週に2回(2日おき)くらいにしましょう。

○1回分は小カップの底から1cm(約20ml)くらいの量をあげましょう。

6. 観察の仕方

○できる人は、最初の状態を写真で取っておくと、成長の様子が分かりやすいです。

○観察を始めた日から1~2週間で、どれくらい草たけ、くき、葉が成長したかを比べましょう。